

かがやき 9月

つなげよう ひろげよう みんなのえがお!

身体を動かしたくなる季節! スポーツの秋がやってきましたね!
9月26日(土)は、園の運動会が行われます。

今年のテーマは“つなげよう、ひろげよう、みんなの笑顔”です。
テーマのように子どもたちも応援しているお客さんもみんなが笑顔になるような競技を計画中です。

夏にためたパワーを発揮し、身体を思い切り使って表現することを楽しみながら、運動会に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

当日は0歳~6歳までの各年齢に応じた子どもたちの成長、そしてキラキラ輝く姿を見て頂きたいと思ひます。

保護屋の皆様のご声援とご協力をお願い致します。廣崎

吹く風が心地よく感じられる今日この頃です。
台風15号が秋を連れて来てくれたように感じますが、日中の残暑は厳しいようです。身体のバランスをとることの苦手な子どもたちは、熱をだしたり夏の疲れが出たりと、まだまだ油断はできませんね。睡眠をたっぷりとって、秋のおいしい果物や野菜などおいしく頂いて、夏の疲れを吹き飛ばしましょう!

今月は「脳が育つとは」という記事の一部をご紹介します、一生の土台となる一番大切なこの時期です。一緒に考えてみましょう。

9月のシルバーウィークの後は豊川こども園の運動会が豊川小学校の体育館で行われます。今年もいろんな場面で子どもたちの成長した姿が見られると思ひますので、どうぞ楽しみに応援してください。

主幹保育教諭 安倍

「ほおずき市」がんばりました!

「ヨ~オ!!!」「ソーレ!!!」「どんどんどん~」
力強い太鼓の音が夏の空に響き渡った『駅館川ほおずき市』で和太鼓初デビューした梅組さん。

ステージ上の子どもたちは、キリッと引き締まり真剣な表情で友だちと気持ちを合わせて叩く姿に見ている方から「すごいね」「じょうず」とたくさんの拍手を頂きました。

叩き終えたあとの、ホッとした表情からは、やり遂げた充実感、満足感にあふれていて、子どもたちの成長を感じることができました。

暑い中での応援とご協力本当にありがとうございました。
小袋



9・10月 行事予定

- 9月1日(火) バースデー訪問
- 3日(木) 硬筆教室
- 4日(金) ケアハウス光訪問
- 8日(火) 礼拝
- 9日(水) 体操教室
- 15日(火) 身体計測
- 16日(水) なかよしキャラバン
- 17日(木) 硬筆教室
- 18日(金) マスコット配布
- 26日(土) 運動会
- 29日(火) 避難訓練
- 30日(水) お茶教室
- 10月1日(木) バースデー訪問
- 8日(木) 礼拝、硬筆教室
- 13日(火) 身体計測
- 14日(水) 体操教室、お誕生日会
- 20日(火) お茶教室
- 21日(水) なかよしキャラバン
- 22日(木) 硬筆教室
- 27日(火) 避難訓練

*行事の日程は都合により変更することがあります



毎朝飲んだ、トマトのリリコのジュース!!



まっかつかなトマトのリリコ!
今年の収穫数はなんと約1400個!大豊作~!!

たくさん実ってくれました!
この時期はひんやり冷たくって、フレッシュなリリコジュースが大人気!「あ~のどがかわいた~」「トマトジュース今日もある?」「おかわりくださいっ!」とゴクゴク...あっという間に飲み干してしまうほど!

リコピンたっぷりのリリコパワーをもらって、暑い夏を皆で乗り切ることができました。
渡辺

ケア・ハウス光 訪問

9月4日(金)「ケア・ハウス光」を梅・桃組さんが訪問します。

おじいちゃんおばあちゃん笑顔に会えるのが楽しみです

マスコット配布

秋の交通安全週間が9月21日~30日まで行われます。

園でも毎年マスコット配布を行い交通安全の呼びかけを行っています。

マスコット作りのご協力をよろしくをお願い致します。

【脳が育つとは】小児科専門医 成田奈緒子氏

人間の発達は生まれてから18年をかけて脳が順番に、バランスよく育つこと。その中でも最も大事なものは「からだの脳」、つまり生きるための脳です。その最も大切な脳を作る時期が、乳幼児期です。

この脳は、眠ること、起きること、ごはんを食べること、そして反射や内臓など身体の基本的な動きをきちんと司るための機能を担っているとても大切な脳です。

朝は太陽が昇ったら目をさまし、活動を始める。まずは空腹を感じ、食事を摂る、日中にきちんと体を動かした活動を行い、夕暮れ、日が沈むころには肉体も脳も疲労を感じ、安全・安心を感じられる家の暗闇の中で眠る。毎日この生活を繰り返すことが、子どもの発達の基本であり、最も大切な脳育てです。

具体的には、大人が子どもを大体同じ時刻に起こし、寝かせる・十分な睡眠時間を取らせる・しっかり食欲を起させる・自由に身体を動かすことを繰り返し、つまりしっかりと生活させ、子どもの脳に五感からの刺激をたくさん繰り返して与えることです。

家で言えば頑丈な土台、つまり自分で生命を維持できる、自律・自立した「からだの脳」を作ること。これがその子にとって一生の幸せのもとです。

【十分な睡眠時間とは】「からだの脳」を育てるには、睡眠が最も大事。一日これだけの睡眠時間(昼寝を含む)が必要です。9か月-14時間、1歳-13時間45分、2歳-13時間、3歳-12時間、4歳-11時間30分、5歳-11時間、6歳-10時間45分

小児科医として心身に問題を抱える子どもと保護者に接する中で、「脳育て」の大切さを痛切に感じる。